

教育面の取組み

児童生徒への教育

○教育委員会作成の人権読本「ぬくもり」（小学校5，6年生用）に掲載された題材「ありのままの自分」を，小学校5，6年生のいずれかで必ず学習

（題材の内容）

女の子の体で生まれてきた「ぼく」は，幼少期から，もやもやした気持ちや不安を抱えて成長していく。その後，ありのままの自分を理解してくれる友だちや，共に支え合えるパートナーとの出会いから，本来の自分を取り戻し，性のありようで困っている子どもたちをサポートする活動を始めたという内容。



（指導のねらい）

互いの違いを認め，誰に対しても差別することなく，公正・公平に接することの大切さを学ばせる。

○平成30年度から使用する「ぬくもり」（中学生用）にも関連の題材「Like a Rainbow」を掲載

（題材の内容）

3名の当事者が，中学・高校時代に経験した葛藤やいじめについて語り，最後に「どんな自分でもいいと思って生きてほしい。」「互いに認め合える社会になってほしい。」という当事者の願いを，メッセージとして伝えるという内容。

（指導のねらい）

社会や自身の中にある偏見や間違った固定概念に気づき，性のあり方を理由とする差別を社会からなくすために，自分にはどのような生き方ができるのかを考えさせる。

教員への研修

○「人権教育指導の手引き」に28年度版から追加。全教職員へ配付し，校内研修などでの活用を指導

（手引きの掲載内容） ・性的マイノリティとは ・学校生活における支援について ・学校における支援体制について ・性的マイノリティに関する指導資料

○平成26年度から性的マイノリティの理解と支援に関する研修を実施

- H26 ・養護教諭対象（全員）「保健室でできるサポートについて」【性的マイノリティの方の講話】
- H27 ・小学校5，6年生担任対象（各校1名）「人権読本『ぬくもり』性的マイノリティに関する題材の活用について」 【執筆者の講話】
- H28 ・全教員対象（南区，西区）「差別の現実から学ぶ」【性的マイノリティの方の講話】
- H29 ・全教員対象（早良区）「差別の現実から学ぶ」 【性的マイノリティの方の講話】
- ・校長・園長対象（全員）「LGBTQの理解と支援の在り方」 【大学教授の講義】
- ・小学校5，6年生担任対象（各校1名）「人権読本『ぬくもり』性的マイノリティに関する題材の活用について」 【実践報告，執筆者の講話】



環境面の取組み

○児童生徒，保護者からの相談に応じて，個別に話し合い，校内支援委員会やケース会議で検討し，児童生徒の心情や保護者の意向に十分に配慮し対応

【具体的な対応例】

- ◇標準服について
 - ・標準服の着用については柔軟に対応
 - ・ジャージの着用
- ◇トイレについて
 - ・みんなのトイレの使用
- ◇更衣について
 - ・保健室などの別室の使用
- ◇体育の学習について
 - ・男女合同授業や種目選択など柔軟に対応
- ◇宿泊行事について
 - ・入浴や寝室への配慮する 等



【支援委員会】

校長，教頭，学級担任，養護教諭，スクールカウンセラーなどで構成

【ケース会議】

上記メンバーに必要なに応じて，スクールソーシャルワーカーや医療機関関係者などを加えたもの